

# 年金積立金管理運用独立行政法人の運用状況(平成22年度第3四半期)

## ○ 運用状況 (前期末からの収益)

第1四半期 (4~6月) ▲2.9% (約▲3.6兆円)

第2四半期 (7~9月) +1.5% (約+1.8兆円)

➡ 第3四半期 (10~12月) +0.6% (約+0.7兆円)

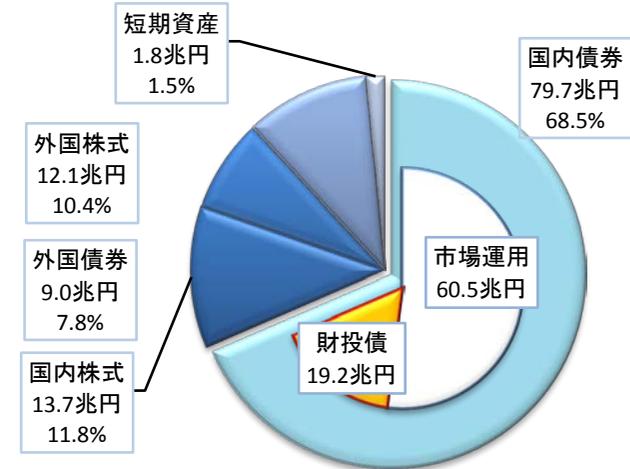
※ 内外の株式市場が上昇したことによるもの。

年度通期 (4~12月) ▲0.9% (約▲1.1兆円)

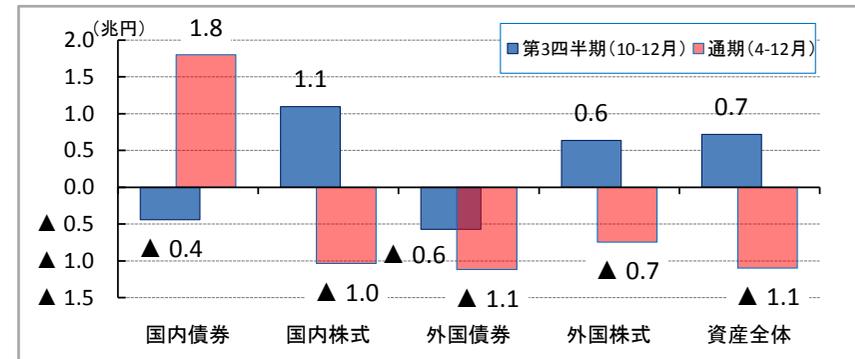
(参考1) 年金積立金全体では、13年度(自主運用開始)からの収益は、**累積で約22兆円のプラス**。

(参考2) 収益は、各期末時点での時価に基づく評価であり、市場の動向によって変動するものです。

○ 資産構成割合 (平成22年12月末)



○ 運用収益額 (グラフ)



## ○ 資産別収益額 (収益率) 及び運用資産額 (平成22年12月末)

	第3四半期(10-12月)		通期(4-12月)		運用資産額	
	金額 (億円)	収益率 (%)	金額 (億円)	収益率 (%)	金額 (兆円)	構成割合 (%)
国内債券	▲ 4,423	-	18,011	-	79.7	68.5%
市場運用分	▲ 5,096	-0.8%	15,975	2.6%	60.5	52.0%
財投債	673	0.4%	2,036	1.0%	19.2	16.5%
国内株式	10,983	8.7%	▲ 10,369	-7.0%	13.7	11.8%
外国債券	▲ 5,731	-6.0%	▲ 11,199	-11.0%	9.0	7.8%
外国株式	6,357	5.6%	▲ 7,435	-5.6%	12.1	10.4%
運用資産全体	7,193	<b>0.6%</b>	▲ 10,980	<b>-0.9%</b>	116.3	100.0%

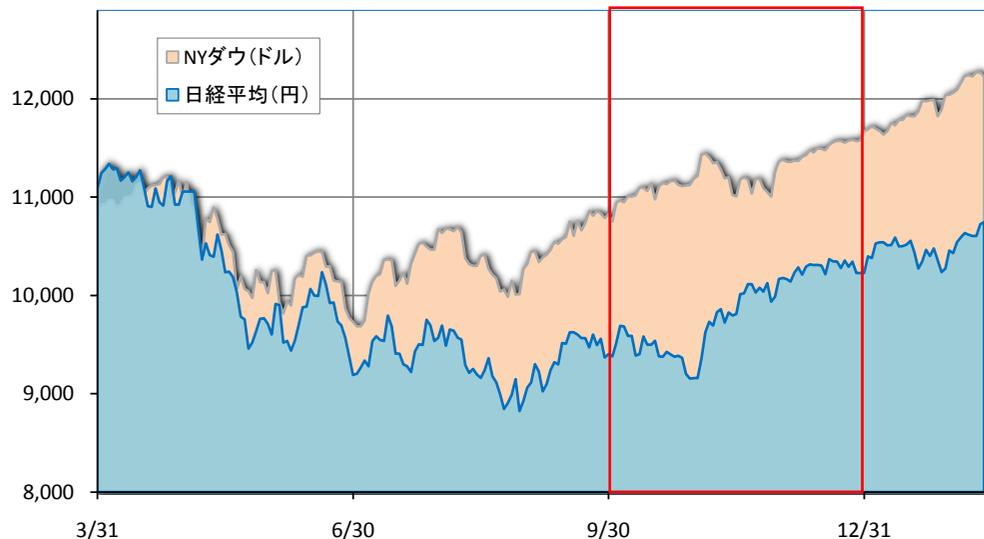
## 年金積立金の管理・運用の基本的な考え方

年金積立金は、国民の老後の年金給付に充てるためのものであることから、その運用は、安全を第一に、比較的安全な資産とされる国内債券を中心としつつ、株式等に分散投資を行っています。

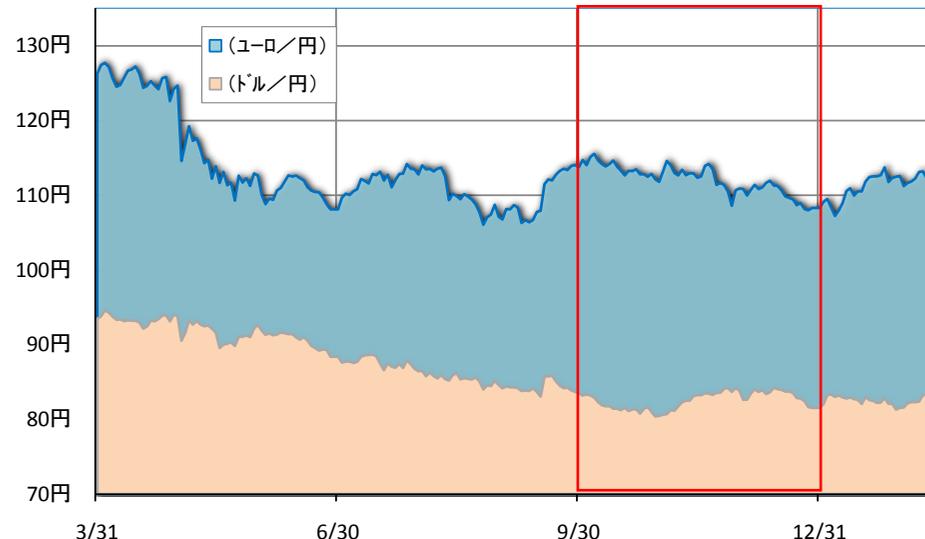
しかしながら、市場で運用する限りは、一時的に損失が出ることもあります。損失が出たからと慌てたり、収益が出たからと楽観視するのではなく、長期的な観点に立って運用を行うことが重要です。

※ 運用資産全体の合計には、短期資産の収益額及び資産額を含む。

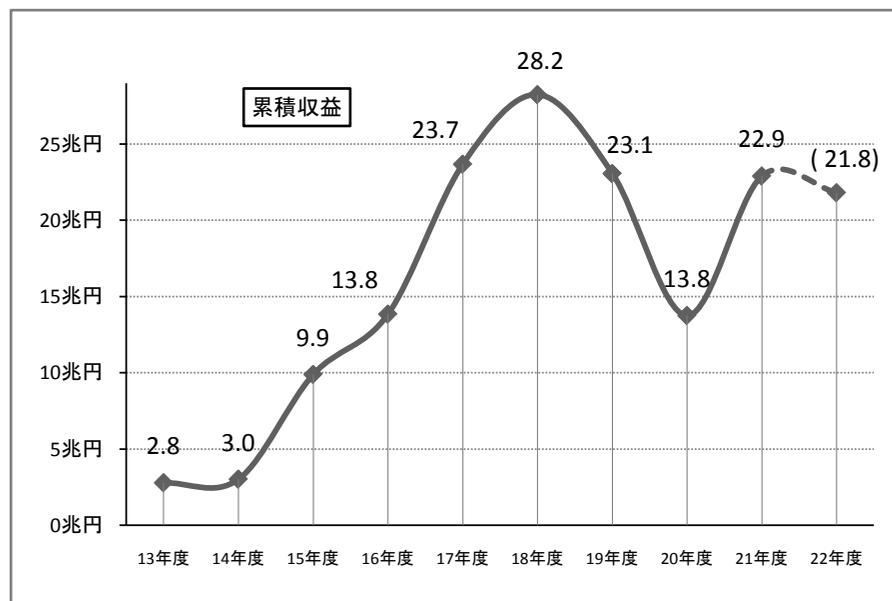
○ 市況動向（日経平均とNYダウ）



○ 為替動向（円/ドルと円/ユーロ）



(参考) 積立金全体の運用状況（自主運用開始時からの収益）



年度	管理運用法人 (兆円)		預託金 (兆円)	積立金全体の収益額 (兆円)	
	金額	収益率		金額	収益率
13年度	▲ 1.3	▲ 1.8%	4.1	2.8	1.9%
14年度	▲ 3.1	▲ 5.4%	3.3	0.2	0.2%
15年度	4.4	8.4%	2.4	6.9	4.9%
16年度	2.2	3.4%	1.7	4.0	2.7%
17年度	8.7	9.9%	1.2	9.8	6.8%
18年度	3.8	3.7%	0.8	4.6	3.1%
19年度	▲ 5.6	▲ 4.6%	0.5	▲ 5.2	▲ 3.5%
20年度	▲ 9.4	▲ 7.6%	0.1	▲ 9.3	▲ 6.9%
21年度	9.2	7.9%	0.0	9.2	7.5%
22年度	(▲ 1.1)	(▲ 0.9%)		(▲ 1.1)	-
合計	(7.8)	-	(14.1)	(21.8)	-
	【6.1】				

※1 管理運用法人の収益率は、運用手数料等控除前の収益率。

※2 【 】内は、平成12年度以前の旧年金福祉事業団の損益等を含めた累積損益。

# 市場の動向(平成22年度第3四半期)

《運用資産全体(市場運用分+財投債)》

	平成21年度	平成22年度				通期
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
収益率(%)	7.91	-2.94	1.53	0.62	-0.91	
収益額(億円)	91,850	-35,898	17,725	7,193	-10,980	
運用資産額(億円)	1,228,425	1,168,027	1,176,436	1,162,720	1,162,720	

※ 収益額は、運用手数料等控除前のもの。

○ 参考指標 (( )内は、22年3月末からの騰落率。)

	平成22年3月末	平成22年6月末	平成22年9月末	平成22年12月末
日経平均 (円)	11,089.9	9,382.6 (-15.4%)	9,369.4 (-15.5%)	10,228.9 (-7.8%)
TOPIX(配当なし) (ポイント)	978.8	841.4 (-14.0%)	829.5 (-15.3%)	898.8 (-8.2%)
NYダウ (ドル)	10,856.6	9,774.0 (-10.0%)	10,788.1 (-0.6%)	11,577.5 ( 6.6%)
DAX(ドイツ) (ポイント)	6,153.6	5,965.5 (-3.1%)	6,229.0 ( 1.2%)	6,914.2 ( 12.4%)
為替(ドル/円) (円)	93.4	88.5 (-5.3%)	83.5 (-10.6%)	81.1 (-13.2%)
為替(ユーロ/円) (円)	126.4	108.4 (-14.3%)	114.1 (-9.8%)	108.8 (-13.9%)

平成23年1月末	
	10,237.9 (-7.7%)
	910.1 (-7.0%)
	11,891.9 ( 9.5%)
	7,077.5 ( 15.0%)
	81.9 (-12.3%)
	112.3 (-11.2%)

○ 海外の年金基金に比べて安全重視の運用  
 (「国内債券を中心とした分散投資」)

(参考) 海外の年金基金の運用状況

	22年度 (4-12月)	(21年度)	(20年度)
・ CalPERS <株式 約5割> (米)カリフォルニア州職員退職年金基金	8.9%	(25.2%)	(▲29.1%)
・ CPPIB(カナダ) <株式 約6割>	8.3%	(14.9%)	(▲18.6%)
・ GPF-G(ノルウェー) <株式 約6割> (全て海外資産)		(25.5%)	(▲ 9.5%)
・ AP1~4(スウェーデン) <株式 約6割> ※ 各基金の資産残高で加重平均	(速報値) (10.4%) (1-12月)	(19.7%) (1-12月)	(▲21.6%) (1-12月)
・ 管理運用法人 <株式 約2割>	▲0.9%	( 7.9%)	(▲ 7.6%)

